

生産販売部 果実花き課の取り組み

～令和8年度の重点推進事項について～

重点目標Ⅰ マーケットインによる生産基盤強化と系統集荷販売対策

目標1. リンゴ販売数量の確保

課題（1）生産量・系統集荷量・販売数量の減少

課 題	対 策	令和8年度目標
① 生産実態の把握と生産性向上、集荷対策	① 生産計画調査と関係機関との連携による講習会等の生産性向上対策を実施する ② 生産状況を把握し、生産傾向に応じた出荷販売企画やアイテム作成を販売部署と協議する（売り先確保） ③ 各種会議や果樹研究会・青年部等との共同販売企画を実施する。 ④ 晩生種リンゴの集荷目標を設定し、販売企画とセットで JA 及び生産者へ系統出荷の誘導を実施する	① リンゴ販売数量 300 万ケース/10 kg 114 億円 (内訳) ・シナノリップ 15 万ケース ・つがる 55 万ケース ・シナノスイート 45 万ケース ・秋映 25 万ケース ・黄色品種 30 万ケース ・ふじ 112 万ケース ・その他 18 万ケース
③ 高温による着色不良・品質不良、ロスの増加	① 優良品種への改植をすすめる ・優良着色系統、黄色系品種の推進 ・補助事業の活用推進 ② 遮光資材・多目的ネット・灌水設備の導入推進、モデル圃設置による検証をすすめる ・生産振興部・生産購買部と連携した推進 ・うまくだ推進部会との連携及び補助事業活用推進	② リンゴ苗木供給目標 10 万本（うちフェザー苗 5 万本） (内訳) ・着色系つがる・着色系ふじ・秋映 7 割 ・黄色品種 1 割 ・その他 2 割
④ 系統販売への理解醸成と集荷量の向上	① フェザー苗の供給を起点にした巡回・営農指導により、生産者とのつながりを強化し、集荷につなげる。 ② 若手生産者による宣伝企画の設定（販売メニュー提案、イベント応援）と長野県リンゴの PR 共有の一体化を進める	
⑤ 売場確保のための営業強化と情報発信	① 集中宣伝会を実施する（早生種 1 回、中生種 1 回、晩生種 1 回で延べ 300 店舗以上） ② りんご三兄弟®を活用した SNS による情報発信を行う	

目標２．モモの生産振興

課 題	対 策	令和８年度目標
① モモの生産 量維持・拡大	① 生産振興部や関係機関と連携した生産振興 検討を行う	① 検討会・他産地視察・ 情報交換会の実施 ② モモ販売数量 100 万ケース/5 kg 35 億円

目標３．ぶどう三姉妹®のブランド・認知度向上

課 題	対 策	令和８年度目標
① 消費の維持・ 拡大につながる 企画（ブラン ド力向上）	① ぶどう三姉妹®を起点としたイベント、企 画を強化する ② ぶどう三姉妹®のロゴ・キャラクターの活 用による認知度向上に努める ③ 各種メディアや新たな宣伝手法の検討に よる継続的なPRを行う	① SNS（パシヤフルなど） を活用した情報発信 ② ぶどう三姉妹®販売数量 190 万ケース/5 kg 190 億円
② 他産地との差 別化	① シャインマスカットおよびクイーンルー ジュ®の品質安定、品質基準の統一を目指 す	① 統一規格の検討

目標４．トルコギキョウ販売数量の確保

課題（１）夏場の暑さによる生産量の減少・品質低下・ロス発生、生産性の向上

課 題	対 策	令和７年度目標
① 土壌病害によ るロスの増加	①土壌消毒の徹底による数量拡大を図る ② 抵抗性品種の紹介・導入を行う	① トルコギキョウ販売数量 600 万本 9.3 億円 ② 委託育苗：800 トレイ ③ 定植率（定植本数／播種 量）、切花率（出荷本数／定 植本数）のデータ収集。 次年度計画策定
②夏場の品質低 下（花傷み、短 茎など）	①遮光・遮熱資材の導入推進を行う。 ②生産購買部との連携、補助事業活用による 推進を行う	
③切り遅れによ るロス・成苗率 の低下	①適品種・適正量の播種、本会委託育苗の導 入推進を図る ②作業遅れにならないための播種計画提案 のため、実績分析を実施する	

目標５．アルストロメリア販売数量の確保

課題（１）県内ＪＡの技術レベル高位平準化

課 題	対 策	令和８年度目標
①切花率等の調査による ＪＡ別課題の明確化	①全戸巡回による圃場台帳の作成と生産 者別課題を抽出する	① アルストロメリア販 売数量 1,500 万本 14.3 億円 ② 花き種苗実績 2.5 億円確保
② ＪＡ技術員の栽培指導 レベル向上	① 4 ＪＡ持ち回りでの統一栽培講習会・巡 回指導会を開催する	

課題（２）メーカーと連携した育苗・種苗確保と、新品種の試作による優良品種の選定

課 題	対 策	令和８年度目標
①優良種苗確保のため の継続的な取り組み ②生産性の高い品種 の導入推進	① ヨーロッパの育種家（ブリーダー）・種苗会 社を訪問し、有望品種を選定する（R8.5/14 ～24、オランダ、イタリア） ② 試作圃場での優良品種選定と展示公開に よる生産者の作付品種検討を行う ③ 種苗品種説明会を開催する ④ 個別相談会による作付け拡大を図る。	同上

課題（３）新たな販売手法の開発

課 題	対 策	令和８年度目標
①アルストロメリア の認知度向上と購 入のきっかけづく り ②様々なアプローチ 方法で店頭の売場 づくりを支援する ③体験型のフェア販 促企画	①「アルストロメリア月間」を設定し、店舗で の販促を強化する ②販促物・資材等の作製 ③店舗でのセルフラッピングブースでの試験 販売を企画する ④銀座 NAGANO での販売・PR 企画を行う ⑤各種販促企画や青年部・若手生産者応援によ るフェアを開催する。	同上

重点目標Ⅱ 生産者手取り最大化

目標１．果実輸出額の維持・拡大

課 題	対 策	令和８年度目標
①アジア圏での果実販売強化	① 台湾・香港・シンガポールでの取扱いを拡大する ② 宣伝会の開催、商標・キャラクターの活用による差別化を図る	① R8 年度目標：果実 23 億円 ・ブドウ 15 億円 ・モモ 3.5 億円 ・ナシ 0.5 億円 ・その他 4 億円
②輸出先国の検討	① 卸売会社や輸出協議会等と連携した新たな輸出先国を模索する（カナダ等）	
③貯蔵施設・技術の活用	① PFC 長野を活用した短期冷蔵保管技術構築（集出荷・保管対応）と品質確保による販売拡大を図る	

重点目標Ⅲ．花き広域営農技術員の設置および花き共計販売に向けた検討

目標１．広域営農技術員の配置

課題（１）広域営農技術員の配置検討

課 題	対 策	令和８年度目標
①各ＪＡにおける花き事業の取扱額減少による人員削減	① 生産基盤の維持、品質確保対策を目的とした広域での検討会を開催する ② 営農技術員が広域指導できる体制を検討する	①中信３ＪＡでの合同技術員研修体制づくり ②花き広域技術員（東信地区以外）の配置
②ＪＡ技術員の育成・指導	① 営農指導者会議 花き専門部を中心とした活動を行う	
③ベテラン技術員の技術継承	① 技術審議役・専門役を中心とした技術員への指導・サポートを行う	

課題（２）花き事業における共計販売体制の検討

課 題	対 策	令和８年度目標
① 共計販売体制の検討	① 品目別に共計販売の優位性があるものを検討し、今後の可能性を探る。	①共計販売の可能な品目の検討

目標２．生産振興品目の拡大を目的とした、生産振興部との連携による県本部生産農場の検討

課題（１）生産振興部と連携した生産農場の検討

課 題	対 策	令和８年度目標
①品目の検討と経営モデルによる試算	①生産振興部と検討・協議を行う ②品目別経営実態調査と経営手法を検討する ③経営品目・作型等の検討を行う	①収支等のシミュレーションを作成。生産農場の実現可能性を判断